



私にできること

日出学園中学校 二年 石川 花風

私は明るい社会とは地域のひととの交流があり、治安の良い社会だと考える。治安が良いというのは犯罪が少ないということだけでなく、街の景観がきれいだったり、住んでいる人が安心して暮らせるという点である。

最近、近所の関係や、騒音、臭いなどのトラブルをよく耳にする。さらに、それが原因で人を殺してしまうという事件も聞いたことがある。私自身もたまに隣から声が聞こえることがあるがそこまで気にならないし、事件になるとは考えられない。しかし、エスカレーターしてしまうのは近所の人たちの関係にも問題があるからではないか。近所で少しでもコミュニケーションをとってあげれば、許容範囲が増え、話し合いで解決することができると思う。

私は近所の人とコミュニケーションをとるために心がけているときに守ったり、守られたりすることで犯罪を防ぐことができ、街の治安が守られる。

そして、それは災害時にも役に立つと思う。私の住んでいる町は、海拔0m地帯で、最近の異常気象もあり、緊急事態時の対応がとても重要である。そんな時こそ、近所の人と助け合い、協力することが大切だ。

若い私たちに何ができるのか、自分の住んでいる町に愛着をもち、積極的に町に溶けこめるよう、自分の考えをもっと深めつつ、努力していきたい。

ることが二つある。

一つ目は、会ったときに必ず挨拶をするということ。それは当然と思う人もいるが、小さい頃、あまり知らない人に話しかけるといっにはけっこう緊張した。それでもいつも話しかけてくれる近所のおばちゃんがいってとても嬉しかった。また、ごみ出しのときや登下校の時など、近所の人とあいさつをして、コミュニケーションをとっている。小さなことの積み重ねで近所づきあいがスムーズになると思う。

二つ目は地域の行事に参加すること。ごみ拾いやお祭りなどの町会のイベントにすすんで参加することによって地域のひとと関わる機会が増え、コミュニケーションがとりやすくなる。

コミュニケーションをとるメリットはトラブルの解決だけではなく、顔も覚えてもらうことで危ないことや困ったことがあ